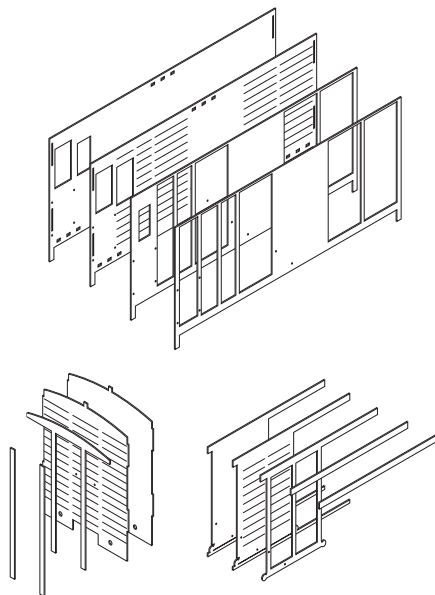


車体の組立

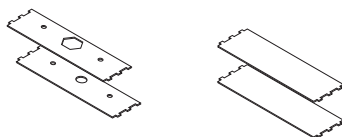
側面・妻面・荷物扉

それぞれ図の順に貼り重ねます
側面両端の厚み部分が妻面隅柱となりますので
段差が目立つ場合はこの段階で修正しておきます



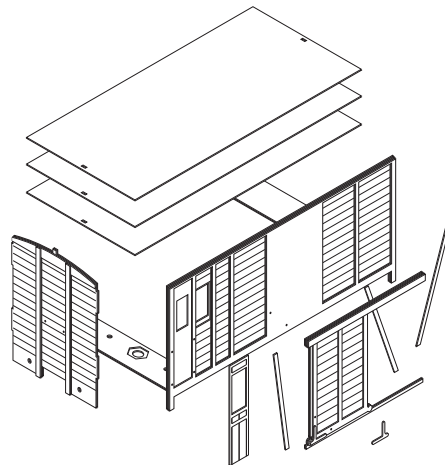
床板止め・天井補強

それぞれ図の順に貼り重ね、床板止めの六角孔に
M2ナットをはめ込み接着しておきます
(後で取れない様、エポキシ接着剤を周囲に盛っておくとよいでしょう)



組み合わせ

側面裏側のミゾに、妻板・床板止め・屋根補強を差し込んで接着し
予め曲げ癖をつけておいた屋根板を三枚重ねてハメ合わせ
荷物扉・側面補強・緩急室扉を取り付けます。



- 大きめの開口部は歩留まり向上のためわざと切り残してあります。
組立前に図解と見比べて切り取ってください。
- また、屋根のRは予め曲げ癖をつけておきます。
- 平面同士の接着はプラモデル用接着剤(タミヤセメントなど)が使えます。
(固着までに時間があるため、接着後の位置合わせ・修正が容易です)
突き合わせ部分、ミゾ穴への差し込み箇所などは木工用ボンドまたは
ゼリー状瞬間接着剤をご利用ください。
- 床板は車体断面に対してタイトに設計しております。
はめ合いがきつい、またははめ込めない場合は前後左右とも
均等に削って調整してください。
- 軸受部分は軸受メタルを内側が面一になるよう押し込みます。
(圧入のみで構いません。)
- ブレーキテコはパーツが含まれますが、変形しやすい箇所ですので
市販品に置き換える事をお勧めします。
- カプラーは連結相手に合わせて選択してください。
(KD#5またはカトーカプラーを使う前提で設計しています)

本キット製作に必要なパーツ
カツミ

軸受メタル(PV)
φ10.5mmスポーク車輪(PV)※
(※エンドウ製品でも可)
貨車用ブレーキシリンダー
(KD型/小)

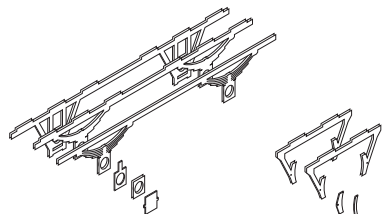
エコモデル #655

その他、カプラー・M2ナット・M2ナベネジ
(長さはカプラーの種類・取付高さに応じて選択)

足回りの組立

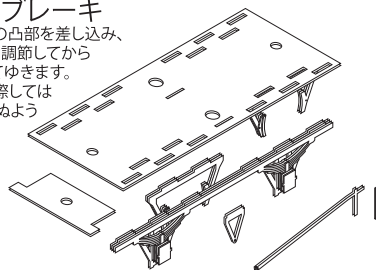
軸受・ブレーキ

それぞれ図の順に貼り重ねます
位置合わせは軸受メタルを埋め込む穴を基準にします
(軸受メタルはこの段階で圧入してしまって構いません)



床板・軸受・ブレーキ

床板のミゾに軸受の凸部を差し込み、
車輪が軽く回るよう調節してから
ディテールをつけてゆきます。
ブレーキの取付に際しては
車輪の回転を妨げぬよう
注意してください。



一応KD#5準拠のカプラー台が付属します。

銘わあくす may_works-lj@infoseek.jp